

家計に身近なファンドでありたい



祝 イチロ 9年連続 200 本安打達成！

浪花おふくろ投信発

おふくろ便り vol.13

2009.9.25

大阪市中央区内本町 1-1-8
7F 7201 〒540-0026
06-4790-6200
浪花おふくろ投信株式会社
toiawase@728ofukuro.co.jp



浪花おふくろ投信株式会社
代表取締役社長
石津史子

～家計に身近なファンドになりたい vol.13～

(9月から社長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。)

ちょっと、余談ですが...



小学生の頃はランドセルを家に置くと、グローブを持って一目散に近所の公園へ行ってみるのが日課でした。4人だと2対2で休む暇なんてありませんでしたが、体は大きい方でしたから男の子と同等にやれたのでしょう。人数が少ないなりに新しいルールを作って、草野球を楽しみました。

そんな野球少女お気に入りのチームは、阪神タイガース。皮肉なこと、草野球をやり始めた頃に、ちょうどジャイアンツの快進撃が始まったのです。だから、V9('65~'73)達成の軌跡をきっちり見届ける羽目に...。あまりにも情けない駄目トラぶりに、「あんな弱いチームのどこがええのやろう...。ファン辞めよう」と思ったものです。でも、春になったら、やっぱり応援している...。好きなものに、理由なんてあらへんのですね。

イチロー選手の快拳

9月14日、9年連続 200 本安打を達成したイチロー選手の快拳には、野球ファンだけでなく多くの方が感動されたことでしょう。

彼を“天才”と言ってしまえばそれまでです。

天性の人並み外れた能力も、彼が練習を通してトコトン鍛え上げなかったら、引き出されることはなかったでしょう。原石は彼によって磨かれたからこそ、走攻守にわたる一つ一つのプレーに結晶して、キラッと光を放って輝いたに違いありません。

野球人だけでなく、私たちが彼から学べるものはたくさんあります。リアルタイムで彼の生き様や偉業を見届けられる幸せに感謝して、自分を向上させる原動力にしていきたいと思います。

納得して保有していただくために

さて、平成 20 年 4 月 8 日に浪花おふくろファン ド(以後：おふくろファンド)を設定し、間もなく 1 年半の月日が経過しようとしています。

本格的な長期保有型の長期運用船“おふくろ丸”の航海は、これまで決して順風満帆ではありませんでした。出航して間もなく世界的な金融の嵐に巻き込まれ、ジェットコースターのように上下左右に大きく揺れました。あまりの船酔いで、下船を考えられた方もおられたでしょう。しかし、そんな嵐の最中でも、しっかり私たちの話を聴いて下さり、お客さまになって“おふくろ丸”に乗船くださった方(口座数...設定時 80 口座 9/24 現在 544 口座)もおられました。責任の重さを感じています。



もちろん、これからも穏やかな航海だとはいえませんが、私たちの目標は、「一般家庭の財産作りの救世主になる」べく“おふくろファンド”を育てていくことですから、どんなに嵐が吹き荒れようが、今後も変わらず、迷わず、「お客さまに財産作りしていただく」ことを第一に据えた舵取りをしてみたいです。

元本の保証はありませんし、将来お約束できるリターンもありません。そんな不確かな投資信託だからこそ、お客さまが引き続きファンドを保有するかどうか判断できる情報の開示は不可欠です。月次レポートなども工夫して、一層分かり易い情報開示に努めます。そして、私たちは世間的にはどんなに泥臭く映っても、浮つくことなく愚直に、長期運用とその関連業務を毎日毎日こなしてまいります。

* *

大男たちに混じって、イチロー選手がやってくれたように、私たちもここ大阪で一生懸命頑張ります。

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、弊社ホームページ(<http://www.728ofukuro.co.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員



家計に身近なファンドでありたい



祝 10月 9年連続 200本安打達成!

浪花おふくろ投信発

おふくろ便り vol.13

2009.9.25

大阪市中央区内本町 1-1-8
7F 728-201 〒540-0026
06-4790-6200
浪花おふくろ投信株式会社
toiawase@728ofukuro.co.jp



浪花おふくろ投信株式会社
代表取締役副社長
中井朱美

~ NEVER GIVE UP! ~

(9月から副社長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。)

カンブリア宮殿

最近ハマっているテレビ番組があります。作家の村上龍氏がプロデュース、司会をしている“カンブリア宮殿”という番組です。

この不況の中、業界の常識を破る経営で成長している異色の経営者をゲストに迎え、龍氏が質問形式で自社の理念や哲学、経営戦略、そして社長の人生観などに切り込んでいくトーク番組です。

これまでたくさんの社長の話を聞いていて、共通することは、強い信念のもと、これだと思ふことに経営資源(人、物、金)を集中させ、とことんやり続けていく姿勢を貫いており、そこには悲壮感はなく、むしろ楽しんでいるということです。

話を聴いていて引き込まれるのは、業績が悪くなったときに、いたずらっ子のように新しいことにチャレンジしていくワクワク感を共有できることです。



失敗は成功のもと

この番組の視聴率は高く、たぶん中小企業の経営者の方もたくさん見ているのだらうと推測できます。ゲストの社長の話は商売の原点であり、成功の秘訣を教えてくれているからです。

私が心に残ったことは、「失敗をおそれるな!」「9回失敗してもあきらめず、10回目で成功すればよい」、「何もしないより、失敗したほうが良い」これを自分だけではなく社員にも徹底して伝えており、給与やボーナスにもチャレンジした人を優遇するような仕組みを作っていることです。こんな社風のある会社は、社員の無限の能力をひきだし、結果として新たな製品開発や、新しいサービスの提供など、成長できる会社になっています。

まさに「失敗は成功のもと」。社員のやる気と達成感を充足させる素晴らしいやりかたです。

人と違う行動をとれますか?

考えてみますと、従来の日本型経営は「出る杭は打たれる」「できるだけミスのないように」など減点主義的発想が根強かったように思います。自己主張しないことが美德のようなところがあり、自分の意見を持たず、指示を待つ人間が無難に働くことができる環境だったようです。長い間このような環境の下で働いていますと、人がやらないこと、人と違う行動をするということに臆病になるものです。

「貯蓄から投資へ」と言われて10年近く経ちますが、多くの人達がまだ投資を怖がり、元本保証の預貯金のままであるのもうなずけます。

しかしながら、元本保証でないというリスクをあまりに恐れすぎると、今の低金利では、お金を増やすことはほとんどできず、また将来のインフレに対処できずに右往左往するリスクを持つことになるのではないのでしょうか?

ネバーギブアップ!

営業マンから勧められるままに金融商品を購入し、買ってからしばらくすると値下がりしてしまい、損をした経験はありませんか? その時多くの方はやっぱり投資は怖い。もうやめようと思われたことでしょうか。しかし、よく考えてください。自分で考え、行動したのでしょうか。否、投資に必要な基本知識もないままに、ちょっと儲かりそうだから、付き合いでとかで購入する方のなんと多いことか。これは武器を持たずに戦いに行くようなもので、結果はお分かりでしょう。

投資の基本を学び、自ら納得して、ゆったりとした投資をしていくと、値段が下がったときもあわてず、原因を分析し、長期スパンで経済の流れを考えられるようになります。また、これから必要とされる物、サービスは何か興味をわき、自分の判断を信じて投資を行うことができます。

失敗を恐れず、勇気を持って行動しませんか?

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、弊社ホームページ(<http://www.728ofukuro.co.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員





おふくろ目線で企業をwatching

～どんな会社に投資しているのか、もっともっと知りたい!～

組入れファンドの月次報告書より抜粋してみました

第13回は「ノボ・ノルディスク」です

～TMA 長期投資ファンドの月次報告より～

おふくろファンドは、TMA 長期投資ファンドを通じてノボ・ノルディスクに投資しています。

あぁ～! 炊き立てのごはん、うどん、スパゲティー大好きやわぁ! すい臓に負担かけてる私...(シュン)

ファンドマネージャー・コメント

TMA 長期投資ファンドは、投資先の企業が「どんな会社なのか?」という、受益者の皆さんの疑問に答えるために、主たる投資先企業を紹介しています。TMA 長期投資ファンドが、どのように投資先企業に魅力を感じているかという点を紹介することで、受益者の皆さんが、よりよく当ファンドの投資姿勢を納得していただけたら幸いです。なお、下記コメントはTMA 長期投資ファンドの基準日(09.7.31)現在の組入れ銘柄の紹介であり、将来変更する可能性があります。また、特定の銘柄の投資権獲得を目的として作成したものではありません。

今回の企業は、糖尿病治療の世界的リーダー企業であるノボ・ノルディスク(Novo Nordisk)です。ノボ・ノルディスク社は、1923年に設立されたノルディスク・インスリン研究所(ノルディスク・セントフレ社の前身)と、1925年に設立されたノボ・セラピューティクス研究所(ノボインダストリー社の前身)が、1989年1月に合併して誕生したデンマーク拠点の企業であり、数量ベースで世界のインスリン市場の52%のシェアを維持しています(2008年)。また、欧米での高いシェアのみならず、規制が急拡大している中国市場におけるシェアは、61%と競合他社を圧倒的に引き離している点や(2009年第1四半期)インスリンの構造を人工的に変更したインスリンアナログ市場でも44%のシェアを占めるなど、世界の糖尿病治療を先導している企業の1つなのです。

私たちが、時々耳にするインスリンという成分は、すい臓の細胞から分泌され、血糖値(血液中のブドウ糖濃度)を引き下げ、体内の代謝に重要な働きをする成分のことです。ノボ・ノルディスク社は、主に血糖値が病的に高まる糖尿病の治療において、体内のインスリンの減少や機能減退を補うために、治療薬としてのインスリンやインスリン関連薬品を提供し、血糖値を適正範囲内で安定化させるために重要な役割を果たしているわけです。

ところで、20世紀後半以降、糖尿病が、なぜ私たちの健康な生活を蝕むものとしてクローズアップされるようになってきたのでしょうか?

食生活の変化という点に、その疑問に対する答えのヒントが隠されているのではないかと考えています。数百万年の人々の食生活の歴史を振り返ってみると、わずか1万年以上前に農耕が始まり、それまでの狩猟・採集・漁労による脂肪・たんぱく質中心の食生活から、主要穀物による炭水化物(糖分)を中心とする食生活に変化してきています。炭水化物中心の食生活の歴史は、人類の歴史から見ればわずかな期間でしかないのです。それに輪をかけて、第二次世界大戦後は、肥満や農耕技術の発展から単位面積当たりの穀物収穫量

が飛躍的に増加したため、効率的かつ十分に小麦やトウモロコシ、米といった穀物を生産できるようになり、一般大衆が必要なカロリー(もしくは必要以上のカロリー)を炭水化物中心に摂取するようになってきたのです。

さらに、便利さと美味しさの追求から食品加工が進展し、スナック菓子やレトルト食品、さらにはインスタント食品のように、より多くの糖分を容易に体内に取り込むことが可能になっています。私たちの身の回りの食べ物を見渡してみると、穀物を原料にした加工食品(精製炭水化物)で満たされているといっても過言ではありません。特にサラリーマンは、米、麺類、パン無しで昼食をとるなどということは不可能に近いです。家庭の食卓でも、穀物などの主食抜きは考えられず、同時に、主食のない食事では食費が膨大に膨らんでしまうという経済性の問題も存在しています。手っ取り早く、コストを抑えてカロリーを摂取しようとするれば、穀物などの炭水化物はなくてはならないものであると言えるでしょう(特に新興国の食卓の現代化も、糖尿病リスクの温床となっているという指摘もあり、糖尿病治療のニーズは高まる傾向にあると言えます)。

とよいうものの過度の糖分の摂取は、食後の血糖値を過大に高めることになり、インスリンを分泌するすい臓の機能に負担をかけやすくなります。そもそも人類が誕生してから数百万年は、農耕を中心とした社会ではなく、穀物などの炭水化物がひっきりなしに体内に取り入れられ、血中の糖分が過大に高まったり、低下したりするという変動の激しいことは経験していないため、生理的にはインスリン分泌機能を働かせすぎている状態にあるという意見もあります。また、20世紀以降、医療技術の発展も影響して長生きできるようになったのは有り難いことなのですが、生理的にすい臓のインスリン分泌機能が十分に動く耐用年数も不足しがちになっていると考えることもできそうです。このような食生活の現代化が、摂取糖分を過剰に増加させるとともに、1日の中での血糖値の変動が高まっていることが糖尿病発症の背景にあると考えることもできそうです。

今後は、多様な環境で生活を営む私たちは、現実的には、炭水化物に依存した食生活を営みつつも、血糖値を適正範囲内で安定化させていくことに注意を払っていくことが、健やかな生活を営む上で重要になってくるものと考えています。新興国も含めた世界中の食生活の変化という点からは、糖尿病は、どんな人にとっても無関係ではられない疾患の1つ。それだけに、生活習慣の改善や初期治療、多様な生活環境に適した治療のソリューションをグローバルに展開しているノボ・ノルディスク社は、私たちの生活にとって不可欠な存在であると言えるでしょう。

参考web site(年次種別報告書)

http://www.novonordisk.co.jp/documents/article_page/document/00_report.asp

このレポートは、浪花おふくろ投信からの情報提供を目的として浪花おふくろ投信が作成したものです。このレポートに記載されたグラフ、図表、数値、経済見通しその他のいかなる内容も作成日時点のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。浪花おふくろファンドにかかるリスク、コストについての詳細、お申込み方法等については投資信託説明書(交付目論見書)および約款・規程集、弊社ホームページ(<http://www.728ofukuro.co.jp>)をご覧ください。投資については、ご自身でご判断ください。

浪花おふくろ投信株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局(金商)第242号 社団法人投資信託協会会員



